

11月の神目小学校

11月1日（月）11月の始まり



○今日から11月。2学期もあと2か月足らずになりました。

○各学年の反省の後、運営委員の6年生が今月の目標を発表してくれました。

○今月の目標は「そうじをだまって 時間いっぱいしよう」です。



○今日は毎月の川柳の表彰と久米郡図画作品展の表彰がありました。楽しみながら作った川柳やがんばって描いた絵が認められています。



11月生まれの人の紹介



○赤ずきんちゃんやフクロウ、キノコのかわいい掲示は釣田先生の作品です。秋ですね。

11月2日（火）句会ライブ



○久米南町は川柳の町です。例年、久米南町にある「川柳神ノ辺会（せんりゅう こうのべかい）」の皆さんや保護者の方々も参加して、その場で川柳を作り発表し、講評していただく句会でした。昨年と今年はコロナの関係でやり方を変えました。

○句会ライブ開催にあたり、作品を作る指導も神の辺会の方にお世話になっていました。



○自分の思いや気持ちを川柳であらわすことができるようになってきて、上の学年に上がるにつれて、だんだんと読む世界が広がっていることを感じました。

○川柳の鑑賞を通じて、コミュニケーション力を高めたり、自他のよさや多様性を認めたりすることにもつながっています。



○紅白のゲーム形式を取り入れたので、いつもと違う発表の形式だとわかり、川柳づくりの段階で意欲が高まりました。

○どの川柳もよくできていて、紅白どちらがよいか決めるのが難しかったです。紅白対抗戦の8人のジャッジの票は4対4の引き分けになりました。

○事前に川柳神の辺会の方に選句はお願いしてあった紅白対抗戦の天・地・人の表彰もありました。



3年

4年





5年

○今日の句会ライブ本番に向けて、5・6年生は係の分担を決めたり、会場を作ったり、リハーサルをしたりして、また学校の中で活躍してくれました。

○片付けもすぐに進んで取りかかり、会場はいつもの体育館になりました。



6年



片づけ：進んでよく働いてくれます。
すばらしい。

11月4日（木）國忠先生の読み聞かせ



○今日は木曜日。週に一回久米南町図書館から國忠先生が来られます。

○図書の日にも給食の日にも本を読んでくださいます。

○今日はちょっと怖い話もありました。「ぼく、その本 読んだことがあるよ」とうれしそうに話してくれた人がいました。

○知っているお話も、他の人に読んでもらったり、劇で見たりすると、なんだか違う話のような感じがします。また、何回聞いてもわくわくします。

○本を借りられるのもとても楽しみです。



11月5日（金）3年生の読み聞かせ



○朝の学習の時間に3年生が1年生に本の読み聞かせをしました。

○「だんしゃく王とメイクイン女王」と「また おこられてん」の2冊です。

○読みの担当でない時には、読み聞かせの様子をタブレットで撮影していました。



○普通に話をしているような会話の読み方や気持ちが伝わってくるような言い方がたくさんあって、「何度も練習をしたんだなあ」と感心しました。



○聴く人のことを考えて、はっきりとした口調や声のトーンや大きさなど よく考えて読んでくれました。



○1年生は「1冊目のお話でイモがしわしわになるのがおもしろかったです」とか楽しかったところや読み方のよかったところなどを発表しました。

○また読んでほしいと1年生が喜んでいました。



11月5日（金）2年生 生活科



○今日は「おもちゃランドであそぼう」の中の紙コップを使ったおもちゃの「糸電話」を作りました。

○紙のコップとプラスチックのコップ タコ糸クリップを使いました。



○音が聞こえるのが楽しくて、糸をこすったり、はじいたりして、作ったもので30分以上遊びました。

○桂先生も参加して楽しくおもちゃ作りができました。休み時間にもした人がいました。



※お昼休みに外で遊んでいた高学年の人が、他の学年の人に「そうじが始まるよ」「入ろうで」と声をかけていました。声をかけられた人達は、さっさと校舎に入り、13:30からの掃除に取り掛かっていました。

※小春日和の中、心も温かくなりました。

11月5日（金）5・6年生 合奏



○11月20日（土）の学習発表会に向けて、楽器を体育館に運びました。2階一番奥の音楽室から木琴や鉄琴、アコーディオンなどを運びました。

○運び終わってから、全員で合わせてみました。個々のパートについては、よく練習ができていました。曲はよく話し合いGreeeenの「キセキ」になりました。いい曲を選んだと思います。

○運動会や学習発表会などで使う曲は、大人になってからも「運動会ではあの曲で踊った」「学習発表会でみんなと一緒に合唱をした」という心の財産になると思います。思い出になり、こ



れから先の苦しい時や元気な時、いろいろな時に心にそっと浮かんで支えてくれることでしょう。

○あと2週間、心を合わせて がんばりましょう。

(全員は撮れていないので、また紹介します)

